

## 目標達成計画

作成日：平成 30 年 4 月 10 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	16	食後のトイレ使用についてトイレを待たせない我慢させない配慮がかけられている。プライベートの配慮に欠け排泄の有無を大きな声でスタッフが聞いている。	排泄の訴えのある時に「待っていて！他の人が入っている」等をいわないそれぞれの入居者様に対し「便の有無」を個別に聞く際も大きな声で聴かずひそやかにきいていく	それぞれのスタッフの考えを統一していく。プライベート保持を守っていく。3か所のトイレを活用しスタッフが終始利用者様の行動や様子を見守っていく。スタッフの話あいの場をもうけていく。	2ヶ月
2	36	利用者様に対する声掛けや目線に配慮した支援	言葉使いを注意していく、丁寧な声掛けが度をすぎれば嫌味やよそよそさにつながることもあることも念頭に置き、微妙なニュアンスにきをつけた会話をしていく。	人間関係を構築し利用者様は決して親子でもなく友人でもないことを忘れずかといって、あまりにも仰々しい丁寧な声掛けははんぱも買うことを忘れず接して行く。やさしさのこもった声掛けを出来るように常に気にかけてケアをおこなっていく。	2ヶ月
3	35	災害時における避難経路や安全確保のため避難同船を妨げない物品の配置をおこなう。	常に整理整頓に心がけ災害時の避難経路を確保していく。ベランダやテラスに物品を置かないようにする。	最小限の物品をベランダやテラスに置く。フロアの机等の配置をしていく。避難訓練の実施の際に特に気をつけていく。	2ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。